

楳爪館
比爪館
肥爪館
火爪館

ひづめだて

2016.1.25
第55号
赤石地区
ひづめ館懇話会

事務局 〒028-3309紫波町日詰駅前1-10-2赤石公民館内 tel 019-676-3999 会長 高橋敬明 tel 090-3125-3776

— 岩手県立博物館テーマ展『比爪-もう一つの平泉-』パンフレット10頁 —

3 比爪-奥州藤原氏第二の拠点- ① 中核遺跡 <五郎沼経塚(1)>

五郎沼経塚は、昭和9年に「恩賜の郷倉」建設の際に偶然発見された経塚です。その具体的な地点ははっきりしていませんでしたが、比爪館に南接する五郎沼の南東部に所在したと推測されます。国道4号線沿いの五郎沼の東側の堤に連続する形で自然地形の小高い丘があり、ここに所在していた民家の屋敷が「ごうそう」と称されており(現在民家は移転)、この地点が経塚の造営場所と考えられます。比爪館の南方に相当する自然地形の高まりで、何らかの宗教的仮託がなされた地点と考えられます。昭和26年5月刊行の「奥羽史談2巻2号」に、この経塚の発見時の様子が掲載されています。(次号に続く)

《《《 2～3月行事予定のお知らせ 》》》

2月17日 (水曜日)	第68回月例懇話会	午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：金濱興一 テーマ：高水寺 1
3月16日 (水曜日)	第69回月例懇話会	午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：平井和夫 テーマ：(未定)

☆☆☆ 岩手県立博物館 特別展のお知らせ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

発掘された日本列島2015 平成28年1月14日(木)～2月28日(日)

全国では毎年約8,000件近い発掘調査が行われています。近年特に注目された19遺跡412点についてご紹介します。要、特別観覧料(大人600円、学生400円、高校生～小学生200円。常設展示もご覧いただけます。)

海に生きた歴史～復興発掘調査が語る一万年の海との共生～

平成28年1月14日(木)～3月6日(日)

復興発掘調査の状況と成果をもとに、海に生きた岩手沿岸部の先人の歴史を紹介します。第3章海を介した歴史の展開-古代～近代-では、「海の平泉」川原遺跡(釜石市12世紀)、「海の平泉北へ」田鎖車堂前遺跡(宮古市12世紀)など、比爪館遺跡と関連する展示もあります。

◎羽柴直人さんの関連講座

2月14日(日) 13:30～15:00 県博日曜講座「海に生きた歴史②-古代～近世-」

会 員 募 集 中 !!

若い方も年配者も、男性・女性どなたでも — 初めての人も大歓迎 — 年会費 2,000円

【会員特典】◎ 月例懇話会・会員研修旅行に参加 ◎ 定期講演会・遺跡めぐり等の参加費は会員特別料金

加入申込書は、赤石公民館にあります。詳細は019-3125-3776(高橋)まで

☀ ☀ ☀ 比爪館跡の発掘調査 No.27 ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀

比爪館 第8次・19～22次発掘調査概報 <紫波町教育委員会(平成16年3月31日発行)>

紫波町教育委員会が平成15年度に発行した本書は、例言にもあるように「概報」であって、「報告書」ではありません。報告書は発行されていないと思われます。

例 言 (抜粋)

- 1 本書は、紫波町南日詰字は箱清水地内に所在する町指定史跡比爪館跡の、第19次から第22次(平成6年度～平成9年度)にかけての緊急発掘調査概報である。
- 5 調査面積・調査事由等を、各調査区域ごとの事実記載冒頭に調査要項としてそれぞれ掲載している。
- 7 - (4) 比爪館に対する地域住民の理解を深めることを目的とし、現場終了ごとに原則として現地説明会を開催したが、面積の小さい19次・21次22次については開催を見合わせた。



第2図 比爪館跡調査区配置図

【第19次発掘調査】

要項

- [原因] 域内の下水管地下推進工事
- [場所] 比爪館中央を南北に走る町道の赤石薬師神社東側正面入り口部分
- [調査員] 桜井芳彦・須川範一
- [調査面積] 15㎡
- [調査期間] 記載なし

検出遺構

50～60cmほどの表土を除去、その直下地山土上漸移層にて、時期不明の小溝、小柱穴等の検出をみた。詳細な記述は省略し、実測図と写真の掲載のみとする。



調査区全体 (北から)

第20図 第19次調査写真